

I N D E X

米 国 NIH でのビッグデータ/データサイエンスの取り組みについて

CPhI Japan 2014 出展のご案内

BioJapan 2014 開催・出展者募集のご案内

米 国 NIH でのビッグデータ/データサイエンスの取り組みについて

「ビッグデータ」という言葉が様々な分野で、はやり言葉になっています。多くの IT ベンダーからは、「ビッグデータ分析を活用し、リアルタイムでビジネスに貢献する」等、ビッグデータに関連したビジネスの謳い文句が喧伝されています。

バイオ分野においても、次世代シーケンサーによる膨大なゲノム情報だけでなく、プロテオミクスデータ等の各種オミクス情報、更には、バイオバンクや臨床情報もデータベース化され、これらの「ビッグデータ」をどのように解析するかが課題となっています。

海外では、「ビッグデータ」という言葉だけでなく、従来のバイオインフォマティクス、計算機生物学、生物医学インフォマティクス、情報科学、生物統計学、定量生物学を統合した「データサイエンス」という言葉がよく使われています。また、ビッグデータを取り扱える研究者 (Data scientist) の重要性が増していますが、海外では Data scientist は “Sexiest job of the 21st century” として注目を浴びているようです (Harvard Business Review 2012)。

米国 NIH では、バイオ分野データの急速な肥大化に対応するため “Data and Informatics Working Group” を組織して検討を行い、2012 年 12 月にビッグデータに対する課題として、様々なバイオ分野の研究者により生み出されているデータの共有と統合、新たな解析手法の開発、ビッグデータを効率的に扱える研究者の育成を挙げ、これらを解決するために、Associate Director for Data Science (ADDS)、Scientific Data Council (SDC)、Big Data to Knowledge (BD2K) initiative の三者を設置し、ビッグデータの課題に取り組むことが発表されています。

ADDS と SDC のミッションは、BD2K initiative の管理・監督、データサイエンスにおける NIH の長期的な戦略策定、データサイエンス活動に関して他の政府機関等との協調など重要な役割を担っております。この ADDS に昨年 12 月に Dr. Philip E. Bourne が就任しましたが、NIH の Francis S. Collins 所長は、この就任にあたって、ビックデータの時代がやって来た(The era of Big Data has arrived)、この分野で NIH は大きな役割を果たすと発表しています。

BD2K のミッションは、バイオ分野のビックデータの幅広い利用の促進、新たな解析手法とソフトウェアの開発、ビックデータを取り扱える研究者の育成、ビックデータの Center of Excellence の設立です。BD2K の予算は、2014 年度 2,700 万ドル、2015 年度 8,000 万ドル、2016 年度 9,900 万ドルであり、年々予算が増額される計画です。

米国 NIH では、このようにバイオ関連ビッグデータの課題解決やデータサイエンスの推進に関して積極的な動きを見せており、JBIC としても新たな取り組みとして、データサイエンス関連技術の最新動向と更なる可能性を調査する計画です。

CPhI Japan 2014 出展のご案内

JBIC は下記「CPhI Japan 2014(国際医薬品原料・中間体展 2014)」に出展いたします。JBIC のブースでは、JBIC が参画している各プロジェクトの概要やこれまでの研究成果についてご紹介します。

【日 時】2014 年 4 月 9 日(水)～4 月 11 日(金)

【会 場】東京ビッグサイト 東 4・5 ホール

【ブース番号】P-19

CPhI Japan 2014 は、国際メディア企業 UBM が、欧州、日本、インド、中国、南米において毎年開催している医薬品の研究・開発・製造のための業界専門展です。米国で開催している Informex とも連動することで、世界の主要マーケットを包括する国際ネットワークのもとにプロモーションを展開しており、日本では珍しく出展社誘致、来場者誘致において本来の意味での国際トレードショーとして開催されています。なお本展示会では、医薬品の研究・開発・製造のための5つの展示会(CPhI Japan, ICSE Japan, P-MEC Japan, BioPh Japan, Pharmatec Japan)を同時開催しています。

CPhi Japan 2014 の詳細については公式ホームページをご覧ください。

<http://www.cphijapan.jp/>

創薬支援セミナー(無料・事前登録)は下記をご覧ください。

<https://ubm-japan.com/cphi/seminar/conference.php#G-5>

BioJapan 2014 開催・出展者募集のご案内

バイオビジネスにおけるアジア最大のパートナーングイベント BioJapan
2014 を下記の要領で開催いたします。

【日時】2014年10月15日(水)～10月17日(金)

【会場】パシフィコ横浜

BioJapan は1986年の初開催から成長を続け、16回目の開催を迎えます。
今回もライフ、グリーン、機能性食品、バイオクラスター&ベンチャーを中心
としたビジネスパートナーングを基軸に、国内外から25ヶ国・地域を超える
600社以上の参加が見込まれており、展示会・セミナーとマッチングシステム
を通じてバイオ産業のオープンイノベーションを加速させます。

なお今回は、光+バイオ・医療の専門展である BioOpto Japan 2014 も同時
開催となっております。

只今、出展者申込受付中です。出展申込締切日は5月30日ですが、3月31
日までにお申し込みの場合には、早期申込割引料金が設定されていますので、
是非ご検討ください。

出展申込の詳細については公式ホームページをご覧ください。

<http://www.ics-expo.jp/biojapan/main/>

=====

「JBIC 会員企業からのご案内」の項目を設けております。JBIC 会員企業で掲載
して欲しい記事がございましたら、ご連絡ください。なお、掲載の可否に
ついては JBIC 事務局にて判断させていただきますので予めご了承ください。

JBIC に関するご意見、ご質問、お問い合わせはこちらから。

<https://www.jbic.or.jp/roku/contact/>

=====

配信中止、変更はこちらから。

<http://www.jbic.or.jp/news/mailmaga/>

=====

発行：一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム

JBIC めるまが編集部 <http://www.jbic.or.jp/>

=====

Copyright(c) 2014 JBIC. ALL rights reserved.